

働く女性の平等への挑戦・裁判基金設立にあたって

住友電工男女賃金差別訴訟の原告たちは、8年前に様々な不安を抱きながらも、裁判に立ちあがりました。労働組合に働きかけても力になってもらえず、均等法の調停に申立ても門前払いでした。自分たちの受けてきた男女差別を、次ぎの世代には引継ぎたくないという思いを行動で現すには、裁判という方法しかなかったのです。

そしてこの裁判を取組むなかで、いかに多くの女性達が自分たちと同様の差別に傷つきながらも、裁判に立ちあがれないでいるかを知ることができました。そんな女性達が泣き寝入りせずに裁判を利用することができていたら、日本の企業社会における男女平等実現にとって、大きな力になっていたに違いありません。

今回の和解解決で、原告たちは幸いにして解決金を受け取ることができますが、この解決金をこれから裁判に立ちあがろうとする女性たちのために役立てたいと、裁判基金を設立することと致しました。

基金は、職場における性差別の撤廃を、裁判によって実現しようとする女性のために、その費用の一部を援助することを目的として運用致します。また基金の資金には、住友電工男女賃金差別事件の解決金と本基金の趣旨に賛同する方の寄付をあてます。

この基金が、働く女性たちを励ますものとなることを願い、裁判への一步を踏み出すことができずにいる女性たちからの援助の申し込みをお待ちしています。またこの基金が、より多くの働く女性を支援できますように、心ある方の寄付もお待ちしています。

2004年1月5日

代表者 弁護士 宮地光子
審査委員一同

基金についての問い合わせ先

弁護士 宮地光子
女性共同法律事務所
(〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-4-2-505 ?06-6947-1201 Fax 06-6947-1202)

働く女性の平等への挑戦・裁判基金 規約

1. この基金は、職場における性差別の撤廃を、裁判によって実現しようとする女性のために、その費用の一部を援助することを目的として設立する。
2. 本基金は、住友電工男女賃金差別事件の解決金と本基金の趣旨に賛同する有志が拠出する寄付金によってその資金をまかなう。
3. 本基金の収支は、代表者が管理する。
4. 本基金による費用の給付は、代表者ほか数名で構成する審査委員会で決定する。
5. 本基金の原始代表者および審査委員は次のとおりとする。
代表者 宮地光子
審査委員 正路怜子 越堂静子 西村かつみ 白藤栄子
6. 本基金の会計は、毎年12月末日、代表者が収支を明らかにする報告書を作成し、これを寄付者に送付することによって明らかにする。
7. 本規約及び代表者又は審査員の変更は、原始代表者及び審査委員の協議による。
8. 本規約に定めのない事項については、条理にもとづき、関係者の協議により決定する。

基金の口座 郵便振替口座 番号 00980-8-203295
口座名称 「働く女性の平等への挑戦・裁判基金」